

# 第1回 東大和市公園等再整備方針・再整備計画策定検討会

## 会議要録

- 1 日 時 令和6年11月11日（月）10時00分～12時00分
- 2 場 所 東大和市役所会議棟第4、5会議室
- 3 出席委員 佐藤 伸朗（座長）、町田 誠（副座長）、松浦 光明、亀山 明子、山本 尚幸、  
木内 健司、秋山 治雄、寺島 由紀夫
- 4 事務局 金子まちづくり部長、廣瀬公園緑地担当課長、  
鈴木計画係長、間野主任、末吉主事
- 5 次 第
  - 1 市長挨拶
  - 2 委員紹介
  - 3 座長・副座長の選任
  - 4 座長・副座長挨拶
  - 5 議事
    - (1) 本日の検討会でご意見いただきたい事項
    - (2) 公園等再整備方針・再整備計画策定の背景と目的
    - (3) 公園等再整備方針・再整備計画の位置付け
    - (4) 公園の現状と課題
    - (5) 公園等再整備方針・再整備計画策定の概要
    - (6) 市立狭山緑地の在り方
    - (7) 今後のスケジュールについて

## 6 議事要旨

### (1) 本日の検討会でご意見いただきたい事項（事務局から資料説明）

#### （質疑応答）

#### ○座長

既存の「東大和市特色ある公園整備基本方針」と「東大和市公園施設長寿命化計画」を、今回策定予定の公園等再整備方針・再整備計画に包含する形で再構築していきたいとあるが、「東大和市特色ある公園整備基本方針」の概要と再構築の理由についてお聞きしたい。

#### ○事務局

「東大和市特色ある公園整備基本方針」は、市内に個性のある公園等が少ないという現状に対し、ボール遊びのできる公園等、魅力的な公園等の整備を進めるために策定されたものである。しかし、平成 27 年度に方針を策定してから既に約 10 年が経過しており、その間にも市の状況や市民ニーズは大きく変化している。また、近隣市では、公園再整備や民間活力の導入が進んでいる。このような状況を踏まえ、今後の市全体における公園等の再整備について見直しを行う時期に来ていると考えており、今回の公園等再整備方針・再整備計画の策定に至った。

#### ○委員

公園等の統廃合を進めていきたいとのことだが、これまで整備してきた公園等を減らしていくことにはあまり賛成できない。まずは、管理の方法を工夫した上での検討事項ではないか。また、市民の合意もなかなか得られないと思っている。

#### ○事務局

公園等の統廃合は、あくまで公園等再整備における一つの手段として考えている。課題に記載しているように、市内には同じような公園等が多くあり、公園等再整備方針・再整備計画の策定にあたっては公園等の機能分担を踏まえ、適切に配置するという考えで整理していく予定である。

#### ○委員

検討会で協議したい内容として、現在進めている狭山緑地フィールドアスレチック改修事業などへの「民間活力の積極的な導入」があるが、これは市全体の公園等への民間活力の導入も含めて、公園等再整備方針・再整備計画を策定していきたいという理解でよいか。

#### ○事務局

本方針・計画の策定の中で、民間活力導入の方向性についても、検討会の中で協議していきたいと考えている。具体的にどの事業手法を選択し、どの範囲の公園等で導入するのが望ましいのかなどについて、ご意見を頂きたい。

## **(2) 公園等再整備方針・再整備計画策定の背景と目的（事務局から資料説明）**

**（質疑応答）**

### **○委員**

「輝きプラン」等の上位計画に基づき、公園等再整備方針・再整備計画の策定を行うとのことだが、それぞれの計画はどのようなもので、今後、本方針・計画にどのように反映されていくのか、具体的に教えていただきたい。

### **○座長**

総合計画「輝きプラン」は、東大和市が今後どのようなまちを目指すかを示す最上位計画であり、その中で、まちづくり分野に係る実現に向けた施策が「都市マスタープラン」に位置付けられている。さらに、市内の公園や緑地の整備に関する具体的な方針・計画として、公園等再整備方針・再整備計画の策定を検討している。詳細については、後日、委員に対し、各計画の概要や位置付けを事務局から説明してもらいたい。

## **(3) 公園等再整備方針・再整備計画の位置づけ（事務局から資料説明）**

**（質疑応答）**

### **○委員**

公園等は多くの機能を担っているが、特に防災、健康、子育てについては重要な位置付けになると考えられるため勘案するとよいのではないか。

### **○事務局**

次回以降に、施設の分布状況がわかる資料等を示したいと考えている。また、どのような機能が必要なのかについてもご意見を頂きたい。

### **○委員**

現在、市内の小学校の統廃合や集会所、公民館の再配置という計画が進められているが、公園等についても統廃合を検討するに当たり、現在の各公園等がどのように活用されているのか、状況を把握すべきではないか。具体的には、現在、利用者がどのくらいいるのか、管理状況はどのようになっているのか、公園等の規模なども把握できているとよい。こうした状況を踏まえて、特に利便性の低い公園等については、他の用途に変えていってもよいのではないかと考えている。

#### (4) 公園の現状と課題（事務局から資料説明）

##### （質疑応答）

##### ○委員

市内でも、地域によって人口密度にかなりの差があり、こうした状況を踏まえて公園等も整備されてきたと想定されるため、公園等の統廃合に当たっては、こうした点も考慮できるとよい。例えば、桜が丘地域にはマンションが多く、建設されるたびに、小規模な公園が整備されている。本当にマンションごとに小規模な公園の整備が必要であるのか、また、現在の公園等の利用頻度や利便性、防災面などの観点からも、考慮していただきたい。

##### ○事務局

検討会でご意見を頂きながら、小規模な公園の統廃合や機能分担を整理していきたい。

##### ○委員

市民団体の活動状況を把握した上で、公園等再整備方針・再整備計画の策定の検討ができるとうい。

##### ○委員

地域ごとに公園等の利用者層や年代が異なっており、各々のニーズを理解し、公園等の設計や整備に反映させることが重要だと感じている。

##### ○委員

民有地を借り上げて公園等に行っている場所についても検討会で協議する公園等として考えてよいか。

##### ○事務局

民有地を借り上げている公園等も含め、検討会でご意見を伺いながら検討していきたい。

##### ○委員

公園等の現状分析の結果から、公園等が少ない地域、多い地域の偏りがわかったと思う。今後、公園等の適切な配置を図るためには、公園等が少ない地域にどのように公園等を増やしていくのが課題となるのではないか。公園等を増やすために、例えば、市として土地の購入や貸借の必要があると考えるがいかか。

##### ○事務局

地域で極端に公園等が少ない地域もあるため、該当地域の公園等のニーズを慎重に調査し、優先的に考えたい。現状、市における限られた財源の中で、土地を新たに購入することは難しい状況であるが、どのような形にするのが最適かを検討していきたい。

## ○副座長

都市計画公園のうち、未整備の公園はいくつあるのか確認したい。また、あるのであれば、それらの公園は今後どのようにしていくのか。

## ○委員

未整備の都市計画公園に関しては、今後の新規整備公園として、公園等再整備方針・再整備計画の中に入れて検討していくことも考えられる。また、長寿命化計画を策定することで、公園の各施設の老朽化状況を把握でき、今後の公園の整備計画の参考になると思うので、公園の老朽化対策や魅力向上などに活用できるとよい。特に、老朽化が進んでいると考えられる昭和50年代に整備された公園等の状況などを把握できると、優先順位を明確にできて、今後の検討がしやすくなると考えている。

## ○事務局

都市計画公園のうち、未整備の公園は多くあり、その取扱いについては今後、検討の中で、ご意見を伺いながら検討していきたい。

## ○副座長

公園等の管理、整備について、費用がどのように推移してきたかわかるとよい。費用がわかると、削減が可能な部分や不可能な部分について検討ができる。また、公園等の管理をどの範囲で直営や委託で実施しているかの状況がわかると、課題が見えやすい。

## ○委員

これまで、市に依頼していくつかの公園で草刈りや整備を実施していただいたが、同じ職員が草刈りや老木の伐採などを何度も行っている状況が見受けられた。このような作業は非常に大変であり、市の職員がすべて対応している現状を考えると、民間に委託して対応をお願いしたいというのが実情ではないかと考える。

## ○委員

自治会のボランティアとして月に一度、公園の草刈りや清掃等を行っている。高齢の方が多く、必ずしも全員が作業できているわけではないが、その場が良いコミュニケーションの機会になっている。要望が多いのは、公園等のルールに関することである。

## ○座長

緑道についての意見はないか。

## ○委員

緑道に直接関係するものではないが、樹木が大きくなり過ぎていることによる維持管理の困難さは問題と認識している。市は、樹木を台帳等で管理しているのか。

## ○事務局

樹木を台帳等で管理していないが、維持管理の過程で、樹木の樹高や公園内にある本数はある程度把握している。

## ○委員

緑道については、市内のどこにあるかがイメージできていない状況で、印象もあまりない。

## ○事務局

地域によっては、緑道比率はかなり高く、規模も大きいにもかかわらず、市民にとって印象が薄いことが問題と考えている。緑道は地域に根付いているにもかかわらず、市民の多くが印象に残らない点を改善し、活用方法を検討したい。

## (5) 公園等再整備方針・再整備計画策定の概要（事務局から資料説明）

### （質疑応答）

## ○委員

市立狭山緑地フィールドアスレチックについては、現状、駐車場が狭いという問題がある。駐車場の拡張計画はあるとのことだが、台数は不十分ではないかと感じる。より多くの人に来てもらいたいのであれば、自転車や徒歩でのアクセスは難しいため、市民の利便性にもう少し配慮すべきである。また、プラネタリウムがある郷土博物館をうまく活かしてきれていないという説明があった。市民が行きたくなるような場所にしていきたいのであれば、フィールドアスレチックと郷土博物館を一体とした管理運営を検討し、魅力の向上を図る必要もあるのではないか。

## ○委員

市内を3つのエリア分け、各エリアに拠点となる公園等を選定とのことだが、その根拠はどのようなものか。新青梅街道で南北にエリアを分けることについてはおおよそ理解できる。

## ○事務局

市内の大部分の公園は街区公園であり、半径250メートル以内の地域住民を対象にした公園である。そのため、街区公園の誘致圏内で地域住民のニーズを反映させ、機能的に整備することが重要である。併せて、地域特性を考慮した広域的なエリアでの検討をしていくことも重要であると考えているため、3つのエリアを設定している。広域的なエリア分けは、新青梅街道より北側のエリアと南側のエリアを青梅街道で東西に2分割した3エリア

としている。新青梅街道南側の東西の一部のエリアでは、それぞれ土地区画整理事業が施行されており、一定規模の公園や緑道が既に配置されている。一方で、整備当時の考え方と現在のニーズが異なることから、現状のまちづくりを活かした再編や再整備が必要と考えている。

### ○副座長

3つのエリア設定の根拠となるような、コンセプトの設定は、差別化が必要である。また、市民ヒアリングを行うとあるが、市内の全公園等が網羅できるほどの詳細な調査が可能であるか。

### ○事務局

市民ヒアリングは、今後20回以上実施していく予定である。既に自治会等に直接話を聞く機会を設けるとともに、今後、地域のお祭り等のイベントを活用してヒアリングを実施していく予定である。頂いた市民意見等については、公園等再整備方針・再整備計画に反映させていく予定である。

### ○委員

公園等の再編のイメージとしては、市域北側は緑地空間を活かすエリア、市城南東側はスポーツ関連エリア、市城南西側はその他、例えば、防災機能といったように、再編する方向性がよいのではと考える。また、市城西側エリアについては都立公園の東大和南公園の役割も踏まえて検討できるとよい。

### ○事務局

公園等の機能分担については、市内にある都立公園との関係性や役割分担を踏まえながら考えていきたい。

### ○委員

ワークショップは、ユーザーの方が実際にどのように使ってもらえるかを聞く大事な機会になる。

### ○委員

狭山緑地の検討にあたっては、市外へのアプローチも考慮すべきと考える。

### ○座長

都立公園と、機能や活動の棲み分けや連携がうまくできるとよい。

## **(6) 市立狭山緑地の在り方（事務局から資料説明）**

### **（質疑応答）**

#### **○委員**

ローラースライダーの整備をはじめとしたフィールドアスレチック改修工事については、東大和市狭山緑地雑木林の会からも多くの意見を受けている。その総論としては、「狭山緑地本来の姿である自然公園」から、この事業により「都市型公園」のような性格に変わるのではないかと感じている。自然環境への影響が懸念される中、フィールドアスレチックの西側と一体となった自然豊かな遊びの空間を実現するためには、生態系への最低限の配慮をお願いしたい。また、四季折々の花木を整備する際には、外来種ではなく地元の樹木を選定するべきで、移植可能な樹木については、移植を検討していただきたい。さらに、今後の整備計画については、スケジュールや計画内容をできるだけ具体的に示し、関係者が「聞いていない」ということがないように願う。

#### **○事務局**

雑木林の会とは定期的に会議を行っているため、今後改めて協議を進めていきたい。市立狭山緑地については、郷土博物館やフィールドアスレチック等の施設があり、これらの施設の活用や連携を踏まえて再整備方針の中で方向性として示していきたい。市としては、これらの施設が十分に活かされていないとも感じており、市民にいかにか訪れていただけるか、また、PRをどのように行うことなどが課題となっている。

#### **○副座長**

フィールドアスレチックの整備をこれまでどのように進めてきたのかと、狭山緑地の魅力を活かし切れていない理由等を整理して次回検討会で、説明してもらいたい。

#### **○委員**

Park-PFIは市民の意見が反映されづらいと考えるので、丁寧に市民の合意形成等のプロセスを取ったほうが良いのではないかと。

#### **○委員**

他市では、指定管理者制度を広域で導入している事例があるとのことだが、導入することで市の財政や管理負担が実際に軽減されたのかを確認したい。指定管理者制度の導入には賛成であるが、他市の状況も参考にしてほしい。市の財政が厳しいという状況を踏まえ、可能な限り負担を減らす方法を見つけていければよいと思う。

## ○事務局

指定管理者制度等の導入に当たっては、財政的な指標をしっかりと示していく必要があると同時に、市立狭山緑地の魅力をさらに引き出し、現在ある施設をより効果的に活用することが重要と考えている。今後、民間活力の導入を進める中で、仮に費用がかかる場合でも、その効果を検証することが必要と考えている。したがって、財政的な観点から「費用削減」という単純なアプローチだけではなく、内容や効果を踏まえた検討をしていく予定である。市として、他市等の成功事例等を参考にしながら、幅広い視野を持って、今後の検討を進めていきたいと考えている。

## ○委員

狭山緑地が、フィールドアスレチックを中心とした都立野山北公園のように、市外からも行きたいと思われるような公園になることは望ましい。

## ○事務局

市立狭山緑地は市内で最大の都市公園であり都市計画緑地ではあるが、規模としては都立公園に劣ってしまうのが現状である。その状況で、こういった特色を活かしていくかが重要であるが、例えば、隣接する郷土博物館で様々な活動ができることは大きな強みと認識している。狭山緑地の特色を活かし差別化を図ることが重要と考えている。

## ○座長

今後、狭山緑地で何ができていて、何ができていないのかをもっと深掘りして目標像をもう少し明確化する必要がある。フィールドアスレチックは狭山緑地の目標像の主ではなく、一機能の位置付けになると思われるため、その整理が必要である。

## ○委員

エリア別コンセプトでは、誰でも使用できること（インクルーシブ公園）も検討していくという考えでよいか。

## ○事務局

様々な要素を含めて検討していく。

## (7) 今後のスケジュールについて（事務局から説明）

### （質疑応答）

## ○座長

今回は令和7年2月に開催予定である。全体を通して意見があればお寄せいただきたい。無いようなので、本日はこれで終了する。また何かお気づきの点があれば、事務局の方ま

で連絡をお願いします。

以 上